

持続可能な開発のための高等教育に関する名古屋宣言
(日本語仮訳)

1. 「持続可能な開発のための高等教育に関する国際会議：2014年以降の高等教育のあり方」及び同時開催の「ESD 大学生サミット」の出席者及び賛同者である我々は、2014年11月9日、愛知県の名古屋大学において、国連持続可能な開発のための教育(ESD)の10年(DESD、2005～2014年)の枠組みの中で作られた数々のコミットメントをはじめ、リオ+20で発足した高等教育サステナビリティイニシアティブ(HESI)や高等教育における人々によるサステナビリティ協定及び国際大学協会(IAU)の持続可能な開発のための高等教育に関するイキトス声明を含む、関連するコミットメントを再確認し、ここに、新たなコミットメントと、高等教育のコミュニティによる持続可能な開発に向けた行動を支持することを表明する。
2. 我々は、国際的に持続可能な開発が追求される中で、高等教育のコミュニティが担う責任を認識し、高等教育機関自身が持続可能な開発の達成に向けて革新と寄与の継続を確保し、2014年以降もESDを通じて持続可能な開発を追求するにあたり、我々のコミットメントと支持を以下のとおり再確認する。
 - 2.1 持続可能な開発に向けた教育の再方向付けを促進することにより、誰もが教育の恩恵を享受し、持続可能な未来や然るべき社会変化に求められる価値観、考え方及び生活様式を学ぶことができる世界を創出するため、国連ESDの10年の目標を前進させること。
 - 2.2 これまでの経験と教訓を踏まえつつ、この10年間、とりわけリオ+20以降に発足し成果を収めたイニシアティブを継続することにより、国連ESDの10年の成果を認識し及びそれらを拡大すること、持続可能な開発目標(SDGs)の精神において、経済、社会、文化、環境及び教育に関する枠組みの再編を支える新しい目標を設定すること、必要な戦略的パートナーシップを確立しポスト2015年の枠組みづくりに寄与すること、能力開発、透明性及び継続的な活動促進を確保するため、評価・報告プロセスを支援すること。
 - 2.3 教育や訓練、研究や普及活動を通して、複雑な、分野横断的で国境を越える課題に対する解決策を見出すため、また、地球の環境上の制約を尊重する態度や変革を導く総体的価値や原則についての理解や実践を促進するため、学生やあらゆる学習者を、未来志向の革新に必要な適性と能力を備えた、批評力と創造力のある思考者及び専門家に育成する、高等教育機関の重要な役割と責任を認識すること。

- 2.4 教育や学びの全ての段階・分野において、持続可能な開発に向けた前進を加速し、ステークホルダーを動かす重要なメカニズムとして、ESD に関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）の実施を支持し、特に5つの GAP の優先行動分野である、政策的支援、教育・トレーニングの場の変革、教育者・トレーナーの能力開発、若年層のエンパワーメントと活動の促進、地域レベルの持続可能な解決方策実施促進について、持続可能な開発に向けた前進を加速させるため、とりわけ、ソーシャルネットワークキングを含む情報・コミュニケーション技術を活用すること。
 - 2.5 高等教育におけるビジョンとリーダーシップの変革、知識開発、学習戦略及び多様な知識システムに関連する研究における変革を確保し、公共と民間セクターに係るステークホルダーと連携し、自ら先進事例となりながら、学びと知識開発における革新的な実践を拡大・主流化し、機関包括的アプローチを通じてコミュニティの参画を促進し、キャンパス運営をグリーン化し、必要な変革プロセスを支えるに相応しい環境を創出すること。
 - 2.6 科学や学びを促進する高等教育のイニシアティブへの様々な支援モデルのみならず、持続可能性に関する具体的な課題が明らかであり、様々なアプローチや解決策が講じられるような、ローカルからグローバルレベルまで状況に適した活動を行うこと。
3. この宣言により、我々は世界のリーダーに対し、持続可能な開発に向けて変革を引き起こす高等教育の役割を支持することを要望し、かつ、マルチステークホルダー、マルチセクターのパートナーシップを奨励し、持続可能な実践例を伝え、広く強力なリーダーシップを促し、持続可能な開発や ESD の重要性について市民意識を高め、持続可能な社会を創出するために不可欠な高等教育機関の役割と責任を認識することにより、共に取り組み、変化を引き起こす学びと研究をより一層促進することを宣言する。